



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,089	1.1	2,321	12.4	2,817	9.8	1,678	19.2
2020年3月期第3四半期	34,717	0.0	2,649	3.3	3,122	4.1	2,077	11.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,385百万円 ( 55.5%) 2020年3月期第3四半期 7,611百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	57.96	
2020年3月期第3四半期	71.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	141,508	71,159	50.1
2020年3月期	128,471	68,477	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 70,875百万円 2020年3月期 68,200百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.50		14.50	23.00
2021年3月期		9.50			
2021年3月期(予想)				9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当10円50銭 創立100周年記念配当4円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	0.8	2,900	16.4	3,900	12.4	2,400	18.6	82.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	30,360,000 株	2020年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,401,212 株	2020年3月期	1,401,186 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	28,958,802 株	2020年3月期3Q	29,104,481 株

当社は、第2四半期連結会計期間より株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(期末自己株式数145,800株、期中平均株式数81,000株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により急速に減少した企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きも見られましたが、国内外の景気は依然として厳しい状況で推移しました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは鈍さを増し、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率に上昇傾向がみられるなど、一段と厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、2019年12月に創立100周年の節目を迎えた当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための中期経営計画「YASDA Next 100」に基づき諸施策を実行し、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指しております。その一環として、物流事業においては、付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大や物流施設の拡充など事業基盤の強化を図り、不動産事業においては、既存施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進による稼働率の維持・向上に努め、事業拡大を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、不動産事業が減収となった一方、物流事業が増収となったことにより、営業収益は、前年同期比371百万円増（1.1%増）の35,089百万円となりました。また、物流施設の新設に伴う租税公課の増加などにより、営業利益は、前年同期比327百万円減（12.4%減）の2,321百万円、経常利益は、前年同期比304百万円減（9.8%減）の2,817百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比398百万円減（19.2%減）の1,678百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより倉庫作業料や国際貨物取扱料が減少した一方、前期に子会社化した大西運輸㈱による陸送料の増加や、倉庫施設の新設や拡張による保管料が増加し、営業収益は前年同期比1,206百万円増（4.1%増）の30,634百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比251百万円減（10.1%減）の2,230百万円となりました。

不動産事業では、既存賃貸施設において稼働率を維持する一方、施工工事の減少などにより、営業収益は前年同期比863百万円減（15.1%減）の4,865百万円、セグメント利益は前年同期比33百万円減（2.0%減）の1,605百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に物流施設の取得による固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ13,037百万円増の141,508百万円となりました。

負債については、主に社債の発行により、前連結会計年度末に比べ10,355百万円増の70,349百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ2,681百万円増の71,159百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.0ポイント減の50.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,411百万円増の10,240百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払やたな卸資産の増加による減少もありましたが、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保による増加により2,786百万円増（前年同期は2,473百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により8,178百万円減（前年同期は3,150百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に社債の発行により7,839百万円増（前年同期は919百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に発表いたしました2021年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの各事業の進捗を踏まえた結果、修正をいたしました。詳細については、2021年2月4日公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,847	10,261
受取手形及び営業未収金	6,186	6,885
商品	-	1,125
その他	615	1,076
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	14,646	19,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,030	36,387
機械装置及び運搬具（純額）	2,063	1,910
工具、器具及び備品（純額）	647	799
土地	27,946	32,223
建設仮勘定	850	82
有形固定資産合計	65,539	71,404
無形固定資産		
のれん	967	882
借地権	1,016	1,016
その他	1,595	1,584
無形固定資産合計	3,579	3,483
投資その他の資産		
投資有価証券	42,538	44,835
繰延税金資産	422	363
その他	1,768	2,099
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	44,706	47,275
固定資産合計	113,824	122,162
資産合計	128,471	141,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,731	3,329
短期借入金	4,250	4,250
1年内返済予定の長期借入金	3,998	3,738
1年内償還予定の社債	62	62
未払法人税等	707	164
未払費用	1,272	1,020
その他	1,321	2,494
流動負債合計	14,345	15,060
固定負債		
社債	487	10,432
長期借入金	27,107	26,029
繰延税金負債	11,535	12,314
退職給付に係る負債	2,269	2,267
長期預り敷金保証金	3,922	3,933
その他	325	310
固定負債合計	45,648	55,289
負債合計	59,993	70,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,814
利益剰余金	35,893	36,875
自己株式	△1,170	△1,180
株主資本合計	41,129	42,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,338	29,049
為替換算調整勘定	△375	△406
退職給付に係る調整累計額	107	120
その他の包括利益累計額合計	27,070	28,762
非支配株主持分	277	284
純資産合計	68,477	71,159
負債純資産合計	128,471	141,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益		
保管料	5,398	5,753
倉庫作業料	6,296	5,707
陸運料	9,567	11,086
国際貨物取扱料	5,014	4,734
物流賃貸料	1,226	1,253
不動産賃貸料	3,398	3,399
その他	3,815	3,154
営業収益合計	34,717	35,089
営業原価		
作業費	14,768	13,707
人件費	5,638	7,129
賃借料	1,796	2,045
租税公課	724	759
減価償却費	1,890	2,205
その他	5,187	4,617
営業原価合計	30,005	30,465
営業総利益	4,711	4,623
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	926	1,014
福利厚生費	171	176
退職給付費用	27	31
減価償却費	89	102
支払手数料	285	319
租税公課	108	148
その他	453	508
販売費及び一般管理費合計	2,062	2,302
営業利益	2,649	2,321
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	661	759
雑収入	37	75
営業外収益合計	701	839
営業外費用		
支払利息	204	253
社債発行費	-	61
雑支出	23	27
営業外費用合計	228	342
経常利益	3,122	2,817

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	1	6
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産廃棄損	109	167
投資有価証券評価損	-	95
特別損失合計	109	265
税金等調整前四半期純利益	3,014	2,558
法人税、住民税及び事業税	849	730
法人税等調整額	91	129
法人税等合計	941	859
四半期純利益	2,073	1,699
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△4	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,077	1,678

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,073	1,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,680	1,710
為替換算調整勘定	△142	△37
退職給付に係る調整額	0	13
その他の包括利益合計	5,538	1,686
四半期包括利益	7,611	3,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,620	3,370
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,014	2,558
減価償却費	1,979	2,308
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	17
受取利息及び受取配当金	△663	△763
支払利息	204	253
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△4
固定資産廃棄損	109	167
売上債権の増減額 (△は増加)	1,589	△703
たな卸資産の増減額 (△は増加)	-	△1,125
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,769	599
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△72	11
その他	△1,016	184
小計	3,350	3,505
利息及び配当金の受取額	662	765
利息の支払額	△213	△249
法人税等の支払額	△1,326	△1,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,473	2,786
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7	△2
定期預金の払戻による収入	7	-
有形固定資産の取得による支出	△1,978	△7,900
有形固定資産の売却による収入	15	17
無形固定資産の取得による支出	△183	△203
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	-	22
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△884	-
その他	△118	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,150	△8,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300	5,000
短期借入金の返済による支出	-	△5,000
長期借入れによる収入	2,600	1,530
長期借入金の返済による支出	△3,012	△2,858
社債の発行による収入	-	9,938
社債の償還による支出	-	△55
自己株式の売却による収入	-	131
自己株式の取得による支出	△206	△131
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△2
配当金の支払額	△597	△694
その他	△3	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△919	7,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,632	2,411
現金及び現金同等物の期首残高	7,786	7,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,153	10,240

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	29,413	5,304	34,717	-	34,717
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	14	425	439	△439	-
計	29,427	5,729	35,157	△439	34,717
セグメント利益	2,482	1,638	4,121	△1,471	2,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,471百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,464百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、大西運輸株式会社の株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては914百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	30,617	4,472	35,089	-	35,089
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	17	393	410	△410	-
計	30,634	4,865	35,500	△410	35,089
セグメント利益	2,230	1,605	3,836	△1,514	2,321

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,514百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,501百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。